

～委員長業務～

・twitter による宣伝、打ち上げ会場の予約、各パートに対しての業務割り振りと依頼、各パートの業務の進捗把握とサポート、リハーサル統括、不測の事態、トラブルの対応、上映作品、コンペティションの管理、後夜祭関係、作品の校閲、作品の締め切り管理、集金、くじの配布と中誘導、会計、二次会への引き継ぎ、宣伝のその他の業務、委員長挨拶

●反省点

・脚本について

水中の案を中心に作成したのですが、そのことによって水中の負担が増えてしまった。
忙しい中、素晴らしいワクワクする脚本を書ってくれた水中ありがとう。

・打ち上げ会場の予約、集金、会計について

委員長がやる予定でしたが、当日の忙しさなどで総務の玉橋さんと箭内さんにやってもらうことになってしまいました。協力してもらってとても助かりました。ありがとうございます。

・くじの配布と中誘導について

くじの作成は藤田に配布は総務の方にやってもらいました。ありがとうございました。
中誘導に関しては、僕がうまく仕事を振れず、結果的に先輩方の気遣いでやってもらいました。すいません。河野さん、興梠さん、太田越さん、吉村さん、ありがとうございます。

・作品に関して

制作パートからの作品は制作パ長が二年生がだす作品は委員長が管理だったのですが、ここの二人でうまく連携が取れず、周りに迷惑をかけてしまった。

・コンペに関して

まず、コンペ兼鑑賞会会場を貸してくれた映像研グル長、ありがとう。

コンペに関しては当日のすべての作品が出揃わなかったため、提出された4作品の評価を参考にしてパ長で話し合い、最終的に委員長である私が6作品を決定しました。

コンペに4作品しか出揃わなかったのは自分にも責任があると思います。

●報告点

・当日の作品の順番について

当日に一部に流す予定のものが完成していないという事態が発生したために自分の裁量で順番を変えました。その際にご来場いただいたお客様に順番が変わった旨をうまくアナウンスするという指示がうまくできませんでした。

●よかった点

・ツイッターなどの宣伝について

常にすべてのパートや全体を見る立場にいる委員長がこの仕事を請け負ったことによって、うまくツイッターを使用することができました。また、ラジオ CM という面白い案を出して、それをやってくれた丸山さん、ありがとうございます。

・来場者について

他の2大学と番発が被ったのにはかかわらず109名の方に来ていただきました。

渉外に積極的に参加してくれている栗原さん、北村、他のたくさんの先輩方のおかげだと思います。ありがとうございます。

・番発全体について

番発自体を一本のドラマのようにした今回の形の中で色々と難しいことがありながらもみんな柔軟に対応してくれたのでここまで良いものに仕上がりました。ありがとう。

文責 小橋 哉太